

2019

CBC NEWS



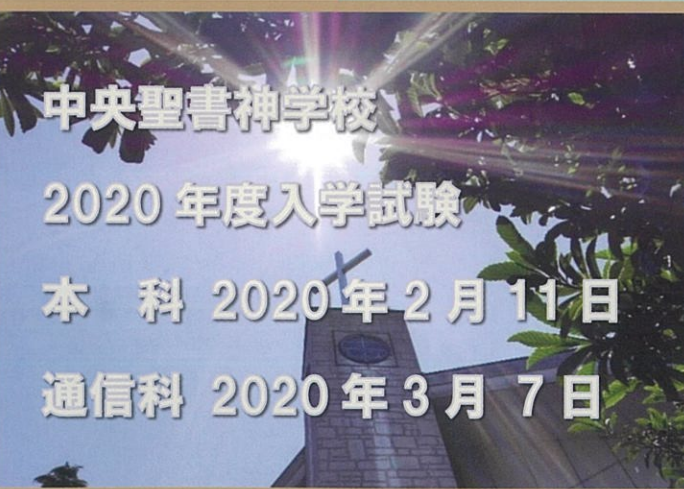
Vol. 50
10月号

発行日 2019年10月28日
CBC NEWS

発行 中央聖書神学校
所在地 〒170-0003 東京都豊島区 1-15-20
Tel 03-3918-4925 Fax 03-3918-4064 E-mail:cbc@ag-j.or.jp
編集 広報部 発行責任者 荻野 倫夫 印刷所 株式会社

授業体験型オープンキャンパス CBC Festa 2019

去る7月15日に2019年CBCフェスタが行われました。午前中の信徒聖書学校から、午後の聖会、CBCへの道と、とても良い雰囲気でした。今回は特に、入学を考えておられる方と神学生との交流の時間を設け、直接神学生と話が出来たと好評をいただきました。ご来場下さった皆様、ありがとうございました!



献金による支えを心より感謝いたします (2019年4月~2019年9月)

ダビデの石奨学金献金:【団体】中央福音教会、武蔵野基督教会、尾崎基督教会、南紀キリスト教会
高知聖書教会、中村福音キリスト教会、佐伯聖書キリスト教会、純福音松本恵み教会
一般献金:【団体】蒲江キリスト教会、関東東北教区、熊本聖書教会、中央聖書教会、
南紀キリスト教会、浜松北キリスト教会、町田聖書教会、松本恵み教会
【個人】岩岡稔員、大野まち子、北野耕一、野口一郎、日吉成人、三宅規之、ロ・ハソン、吉永豊

愛は人を育てます

ガリラヤ丸子町キリスト教会
荻野 倫夫

四月から中央聖書神学校の学生主任に就任しました。さて、学生主任の役割とはなんでしょうか。恥ずかしながら、学生主任がどのような役割をするか、引き継ぎをしてもあまりピンと来ませんでしたが、私が学生主任になるといってとで他の先生方が驚いて握手してきて「大変ですね」と。どのよう

に大変なのか、私より他の先生の方がよくご存知のようでした。実際に学生主任の働きを始めてから「なるほどこのように大変なのか」とよく分かりました。三宅校長は端的に「学生主任は神学生の牧師」とおっしゃいました。まだ未熟な牧師が、献身者の牧師? 一体何が出来るでしょう。ただいゆる引き継ぎだけでなく、また何々をせよと「人に言われて」でなく、職務を自分のものにして、と考えると続けられました。そんな中、私なりに学生主任の職務を以下のように解釈しました。

人は人を育てることはできない。人を育てることが出来るのは神だけである。学生主任は神学生を育てることはできない。育てることが出来るのは神だけである。けれども愛は人を育てる(一コリント八・一)。もし愛するならば、人は神の同労者になることができる。本来神のみなし得る、人を育てるわざに与らせていただける。だから学生主任にできることは神学生を愛することではないか。ちょうど、自分の価値が見出せなかった当時神学生だった私を「価値あり」と認め、育んでくれた恩師たちのように。

愛は、人を神の同労者としめます。愛は、本来人間にはできない、人を育てるわざに参与させます。

これは学生主任だけでなく、すべてのクリスチャンにとって共通の原理ではないでしょうか。

クリスチャンはいついかなる時も、他の人の徳を高めるためにのみ口を開きます。それは愛することによって達成されます。愛し、人の徳を高め、神の同労者となることが、神学校で実践され、クリスチャンのいる全ての場所で実践されますように。

夏期派遣

本科一年生 平松徳子

今回の夏期派遣は長野県の駒ヶ根アルプスシオン教会でした。祈りとみ言葉と賛美の溢れる教会でした。信仰書の分かち合いは、様々な年代の方と一緒に発見のできる良い時間となりました。地域の方とお交わりができた事も感謝でした。飯田礼拝では私の救いのきっかけが幼稚園である事を聞き、参加された園長先生が「励ましになる。」と言って下さいました。信徒さんと一緒に登山もできました。神様の造られた自然に感動し、下山後も涙が出ました。この派遣を通して神様は私を励まし続け、すべてを備えていて下さいました。今回、与えられた事を忠実に自分の糧としていきたいと思います。すべての栄光を主にお返しし、お証しとさせていただきます。

本科一年生 庭山桃江

いつも覚えてお祈りくださり感謝します。私は初めての夏期派遣で、東京シティーチャーチと清水シティーチャーチに行かせていただきました。清水シティーチャーチでの奉仕をする中で、教会のない地域で牧会をしている先生方と出会いました。この出会いは私の考えに大きく変化をもたらしました。東京では、教会が多く存在しています。しかし、日本にはまだまだ教会が存在しない地域が数多くあることを今回の派遣で思い知らされました。教会に誰もが簡単に行けるわけではないという状況に自分は何ができるのかと考えさせられました。これからの学びと実践を通して自分にできること、また神様からのチャレンジに祈りながら備えていきたいと思ひます。

本科三年生 丁慧怡

今年の夏は愛知県にある天塚キリスト教会と東京にある小岩栄光キリスト教会に参りました。たくさんの働きを通して、教会の運営、牧会の生活などを体験し、視野が開かれて、来年卒業する私にとって、とても貴重な学びとなりました。その中にあって、一つ特別な奉仕は「全国ろう者聖会」に参加させていただいたことでした。ろう者の皆さんと一緒に手話で神様を賛美し、手話のメッセージを見て、とても励まされました。二つの教会に派遣されて、あっという間の一ヶ月でした。その中で出会った人々、学んだこと、身に付いたこと、神様に教えられたことを心に覚えて、もっと高めへと成長していきたいと思ひます。

本科三年生 矢部昭仁

最後の夏期派遣は大分県にある蒲江キリスト教会でした。自然豊かで漁港が目の前。新鮮な魚が美味しい漁師町。人口は5千人。そんな蒲江の町に60年以上も建ち続ける教会。現在は無牧となっていますが、信徒さんお一人お一人の信仰と祈りが教会を支えていました。また何より、聖霊の守りを強く感じたきれいな教会でした。祈りの課題は、牧師が与えられることと皆様の健康が守られることです。



伝道部 @HOME

広報部

広報部の奉仕を簡単に説明すると、CBC ニュースを編集、発行すること、またFBの記事をアップして、各活動の写真を管理することです。目的は神学校生活や活動の様子を全国の諸教会に広報するためです。こうして皆さんが神学校のことを知り、祈って頂くように。また献身者が起こされますように願っています。 広報部長 丁 慧怡

作業部

神学校の月曜日は作業日となっています。学校全体の清掃、修繕、庭木の手入れ等々。そこに加えて、伝道部と協力して、先日より地域商店街の清掃も加えました。揃いのTシャツに身を包みゴミを拾うと「あなたがたは何処の団体ですか？」と聞かれCBC（近所に教会）があることを宣伝しながら伝道する機会を主に与えられました。 作業部長 矢部昭仁

実は、神学校には部活動があるのです！このCBCニュースを作っているのが、広報部です。あとは伝道部と作業部があり、各学生はそれぞれいずれかの部に所属しています。

伝道部の働きの中に、学生自主伝道活動があり、上野伝道班と施設伝道班があります。今回はこの各部活動と伝道班の紹介をします。

上野伝道班

野外用の自立するライトが必要です。もし、倉庫の奥に眠っているような物がありましたら、ご連絡下さい！！



今年度のスローガンは、「心1つに～それぞれの賜物を生かして！～」テーマ聖句は使徒2章47節「主は毎日、救われる人々を加えて1つにしてくださった」です。集会に人が来ないという状態が続いていました。どのように地域の方と繋がるかが課題でした。目標は、来られた方に「初めて来た感じがしない」と言ってもらえるようなアットホームな集会にすることと、地域の方々と繋がることでした。学生9人で話し合いながら、集会の場所を変え、雰囲気にあった「@HOME（アットホーム）」という名前に変えました。また、BBQやスイカ割り、花火大会、台湾祭りなどを企画し、チラシを配りながら、商店街

の方々に挨拶をし、同時に地域のゴミ拾いも始めました。それぞれのアイデアや賜物を用い、共に祈り、捧げて行く時に、主は答えて下さいます。最高51人の出席者が与えられ、求道者が数人導かれています。祈りの課題は、来られた方々が集会に定着し、信仰告白に導かれ、中央聖書教会につながることです。是非覚えてお祈り下さい。主に栄光がありますように！ 伝道部長 勇 亜弥

美しい並木道の片隅で月に2～3回のペースで開催する上野公園伝道は、長年引き継がれてきた伝統ある神学生のミニストーリーです。来会者の為に毎回学生がおむすびやお茶、スープを手作りし、意気揚々と向かいます。聖書のお話や交わりを楽しむに待っていてくださる方が多数おられ、いつもやりがいを感じます。その集会は主が作ってくださった一つの教会となっているのです。 上野班長 大野和也

月1回、埼玉県にある川口キングスガーデンへ傾聴ボランティアに行っています。それぞれに担当する方が決まっています。毎回お会いできるのを楽しみにしています。神学生の私たちのためにも、励ましをいただき、最後にお祈りをしてお別れします。募る話が多すぎて、いつもあつという間に時間が経ってしまいます！ 施設班長 坂田容子

施設伝道班

ろう者 聖書学校



主の御名をたたえます。

いつも、ろう者聖書学校のために覚えてお祈りくださり感謝いたします。

8月には、全国ろう者聖会が幕張で行われ、1名の卒業生を送り出すことができました。

4月より中央聖書学校校長に就任された三宅規之師からの証書授与第一号が、ろう者神学生となりました。「忘れられない日となった」という三宅校長の仰られた言葉が印象的で感動の卒業式でした。また、このたびはアメリカ AG 宣教師団から神学生への奨学金が授与されるという恵みにも与りました。

ろう者聖書学校は、1年間に集中講義が6回あり、次の講義までの短期間でレポート提出をしなければなりません、皆頑張って学んでいます。そんな中で楽しみの一つは、毎年10月に本校を会場として行っている集中講義です。本校の神学生との交流、苦楽の分かち合いは、大きな恵みと励ましの時となっています。特に講義後の夜に行われる交流会は毎回大盛り上がりの楽しいひと時となっています。皆様の協力、励ましを心から感謝しています。これからもろう者の救いのために、ろう者の働き人が一人でも多くたてられるようにと願っております。引き続きお祈りください



通信科

教会献身者コース 南紀キリスト教会
西谷 望 衣 露

この春、私たちは CBC に入学し、通信科での学びを始めました。あっという間に一学期が過ぎましたが、夫婦二人で一緒に学ぶ中での恵みを二つ、分かち合いたと思います。

一つ目は、共に励まし合いながら学ぶことができる点です。私たちは、仕事の休みの日を同じにすることで、一緒に勉強する時間をできるだけ確保するようにしています。勉強が行き詰まったり、何かご褒美が欲しいなと思ったりしたときには、近くのカフェ等に行き、リラックスした雰囲気の中で学びを続けています。また、お互いに疑問に思うことも、シェアすることで理解が深まるので感謝です。

二つ目は、同じ方向を見て進むことができる点です。一言で献身といっても様々な形があり、たとえ夫婦であっても、お互いのビジョンを分かち合うことは必要です。結婚前から献身について話し合っていました、今の学びの期間を通して、二人のビジョンが明確になりつつあります。そして、何よりも神様が、私たちが進むべき道をさらに具体的に示してくださっているように感じています。

これからまだまだ学びが続きますが、献身者としての更なる成長と神様の導きに期待して、主のために前進していきたいと願っています。